



2024年3月期 決算説明資料

株式会社要興業（東証スタンダード：6566）

2024年5月29日

- ◆ 当社グループの紹介
- ◆ 2024年3月期 連結業績
- ◆ 2025年3月期 連結業績予想
- ◆ 株主様への利益還元
- ◆ 2024年3月期 トピックス

2024年3月期は、
増収・増益となりました。

2024年3月期は、増収増益となりました。

| | 2023年3月期 実績 | 2024年3月期 実績 | 前期比 |
|------|----------------|----------------|--------|
| 売上高 | 13,029 | 13,503 | 103.6% |
| 営業利益 | 1,739 | 1,762 | 101.3% |
| 経常利益 | 1,786 | 1,869 | 104.6% |
| 純利益 | 1,260 | 1,285 | 102.0% |
| EPS | 79.4 | 81.0 | 102.0% |

※単位(百万円)、EPSのみ単位(円)

当社グループの紹介



| | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社名 | 株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD. |
| 本社 | 東京都豊島区池袋 2丁目14-8 池袋エヌエスビル |
| 代表者 | 代表取締役会長 藤居秀三 代表取締役社長 木納孝 |
| 創業 | 昭和47（1972）年6月 |
| 設立 | 昭和48（1973）年4月 |
| 資本金 | 8億2773万6875円 |
| 子会社 | 株式会社ヨドセイ（東京都豊島区） |
| 収集運搬車両 | 479台（2024年3月末日時点、連結） 329台（2024年3月末日時点、単体） |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">・ 収集運搬・処分事業・ リサイクル事業・ 行政受託事業 |

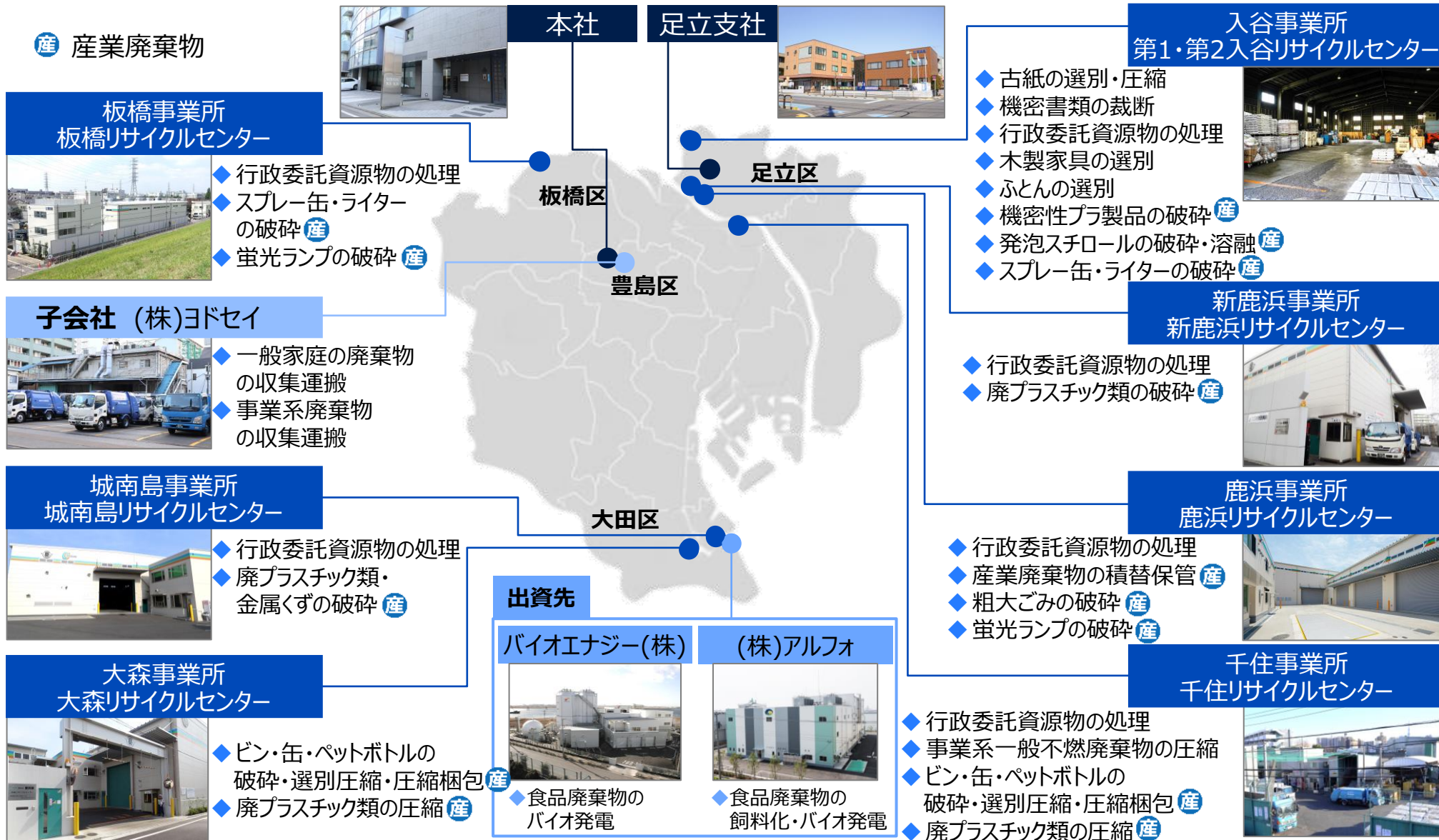
経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

経営方針

- ◆ 快適な都市生活と資源の循環を推進するため
適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- ◆ お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- ◆ 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- ◆ 持続発展をめざし、株主と社員を大切にします

本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

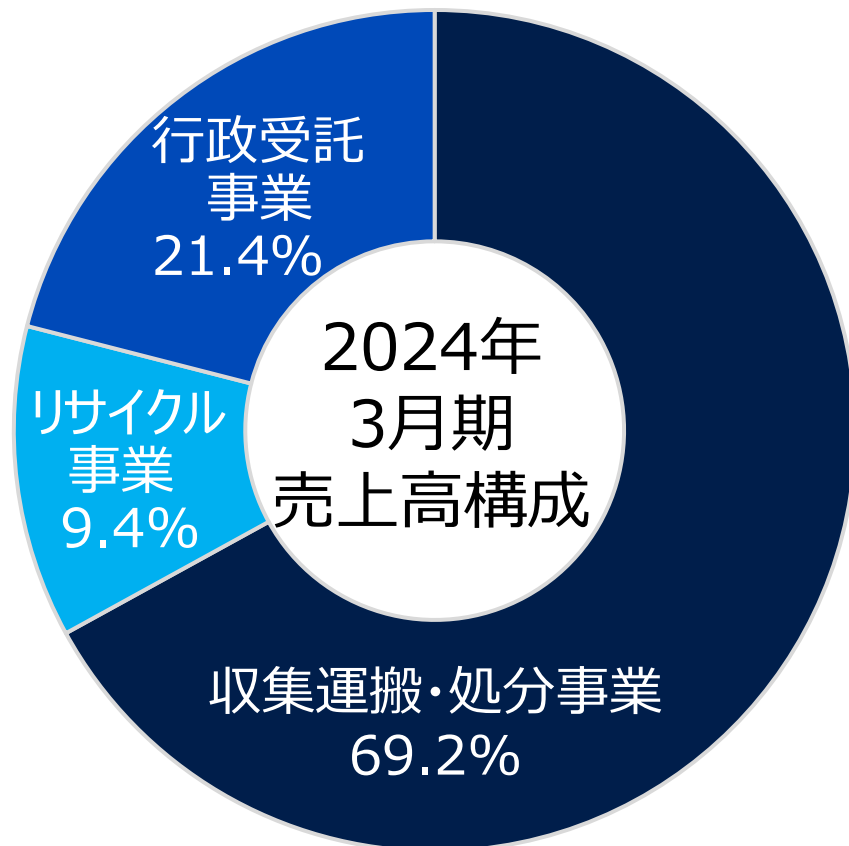


2024年3月期 連結業績



廃棄物の収集運搬・処分に対する**フィー収入**に加え、リサイクル事業での**販売収入**を計上





収集運搬・処分事業

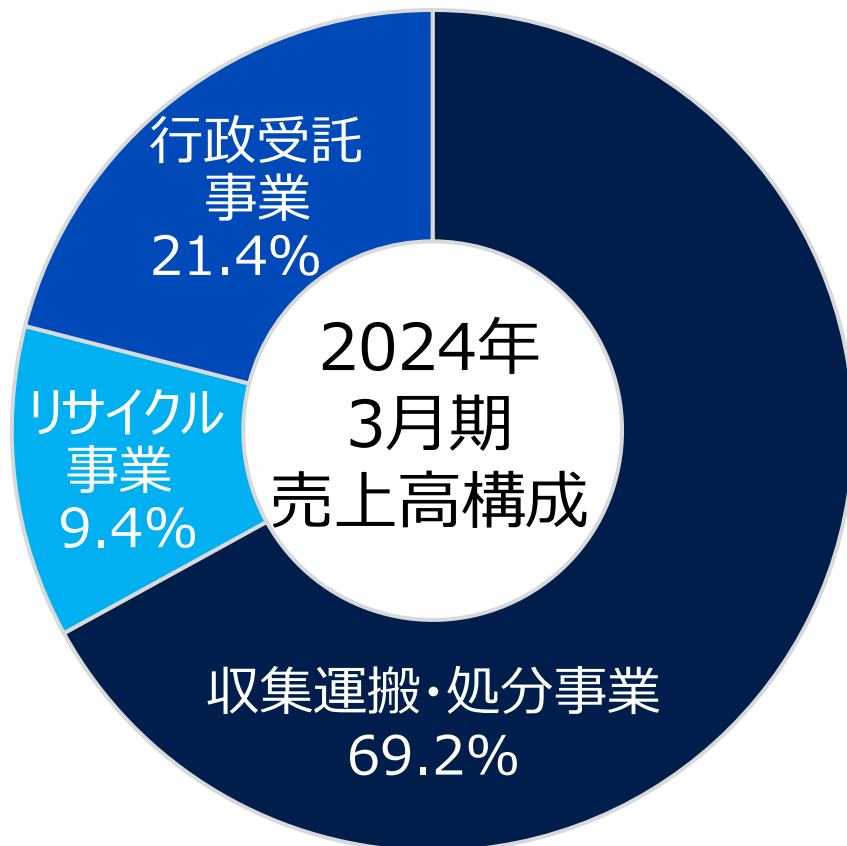
69.2%

リサイクル事業

9.4%

行政受託事業

21.4%



収集運搬・処分事業

69.2%

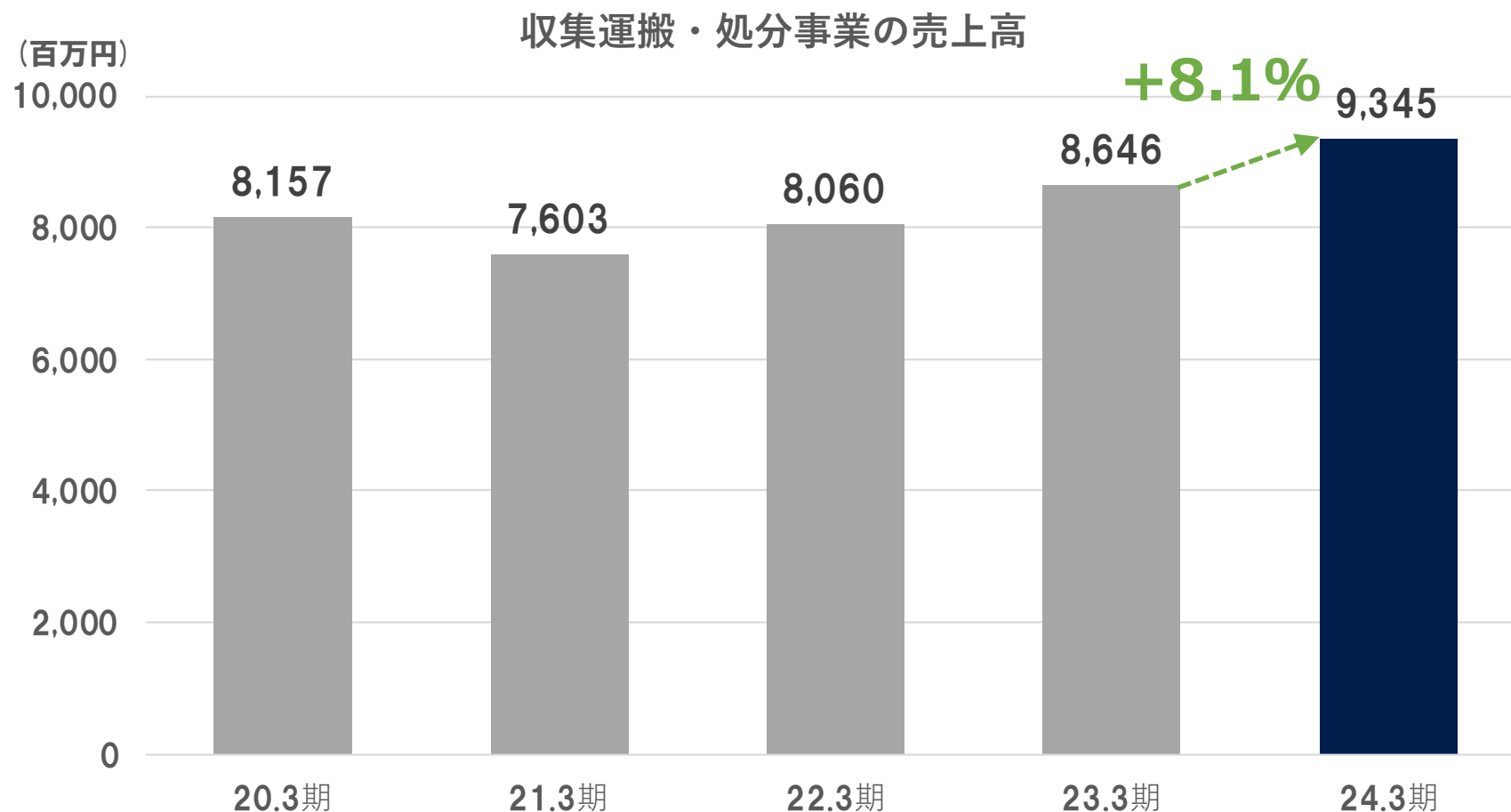
リサイクル事業

9.4%

行政受託事業

21.4%

- 収集運搬・処分事業の売上は93億4500万円と前期比8.1%の増収となりました。
- 顧客ニーズに合致する営業活動の継続により顧客数は順調に拡大しております。



車両台数は479台（2024年3月末日時点、連結。単体で329台）

- 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）



- 感染性廃棄物運搬車



- 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）



- 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）



- 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）

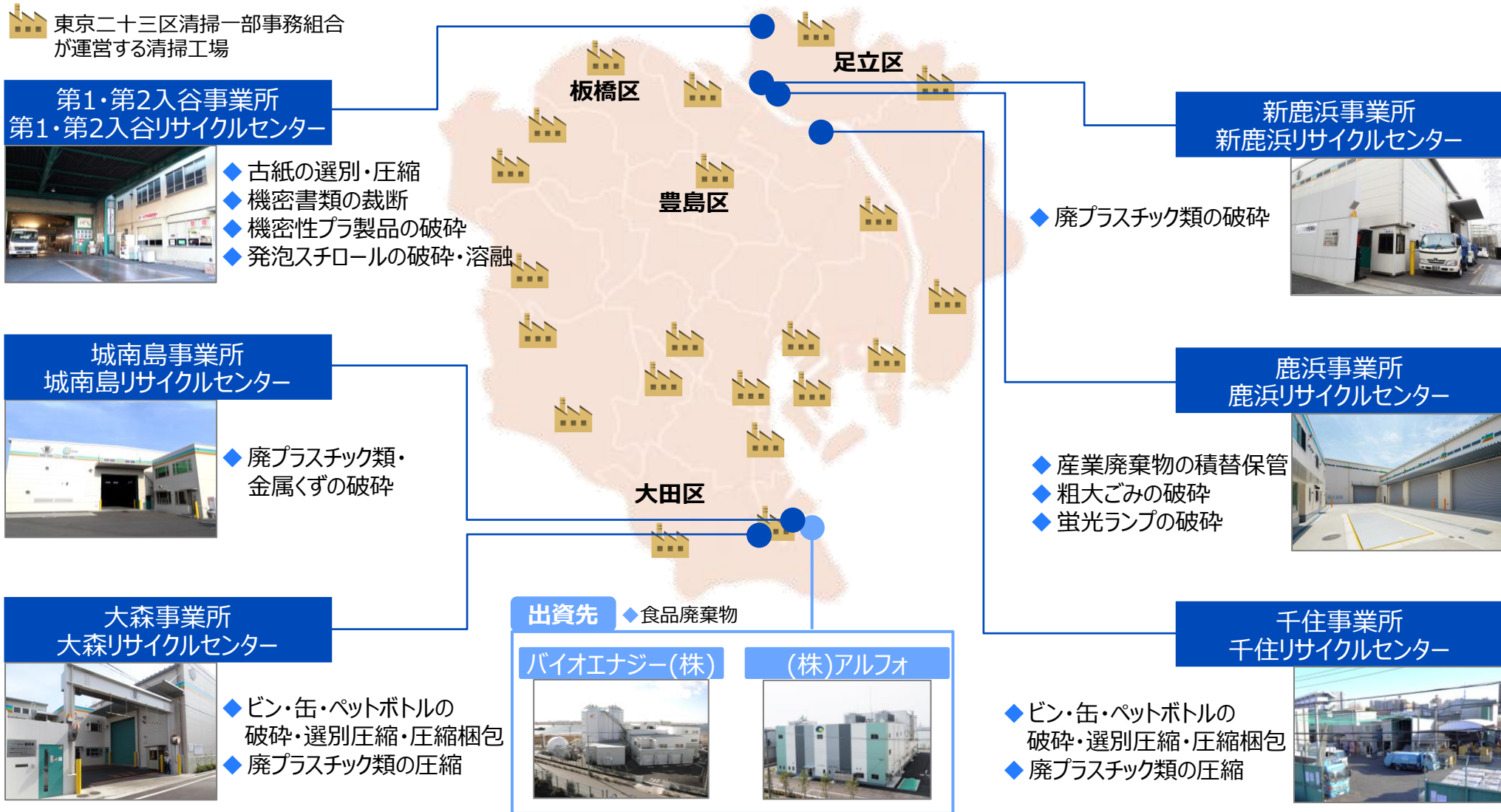


- 計量車両

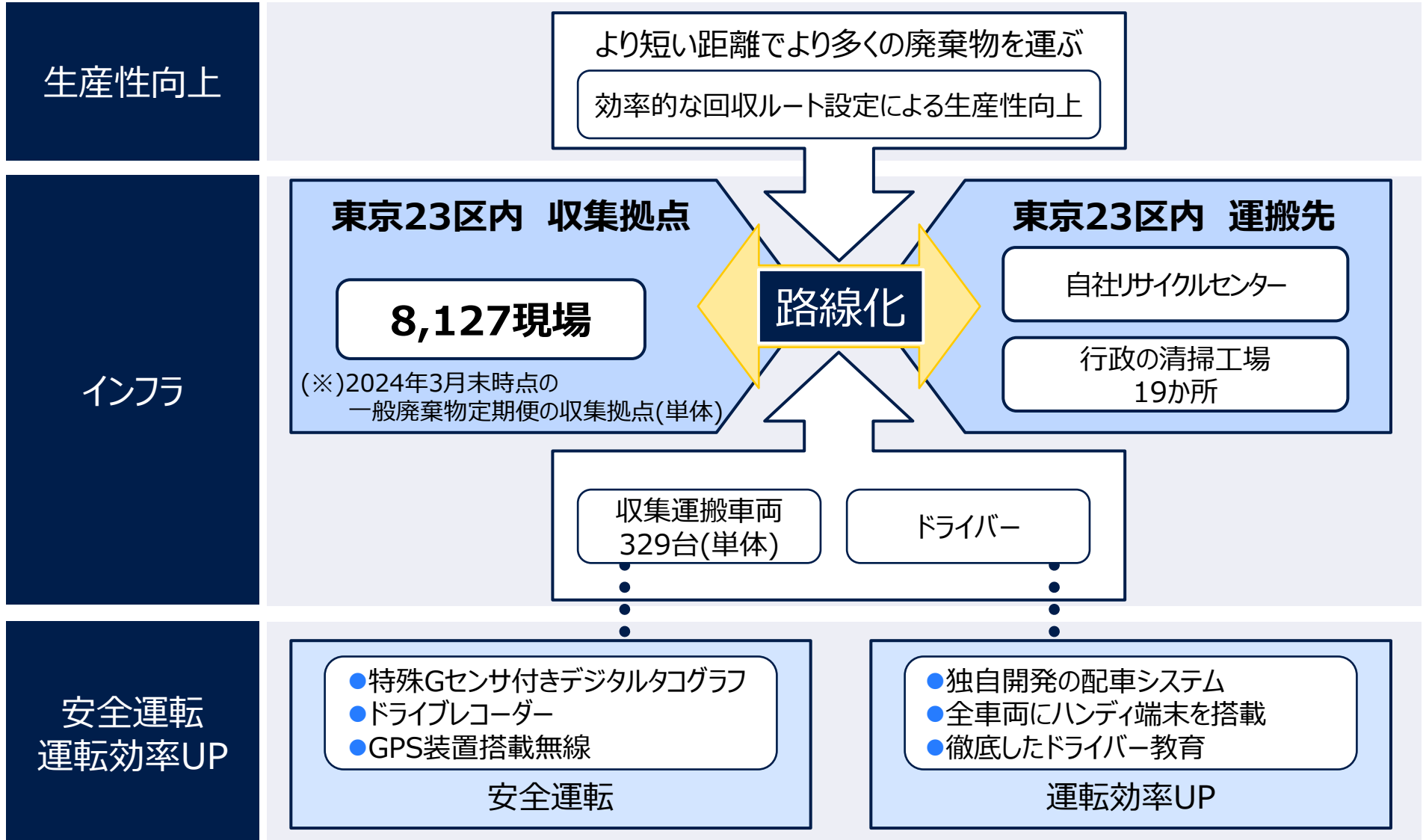


リサイクルセンター・出資先の事業所、合わせて9拠点と、

東京二十三区清掃一部事務組合が運営する清掃工場



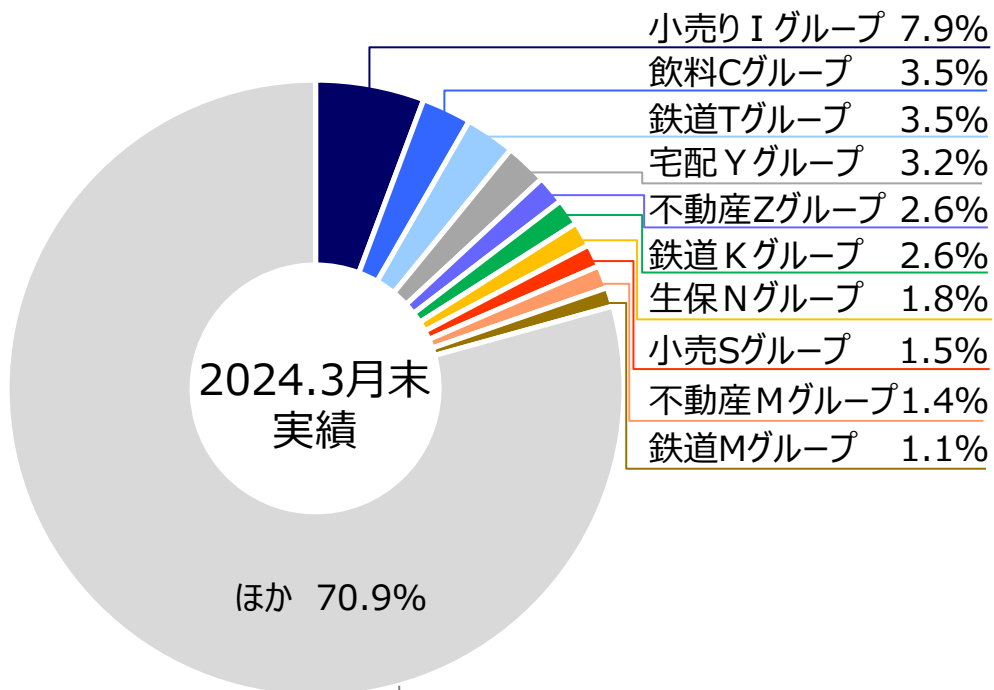
東京23区内の**路線化**により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立



業界唯一の**コンサルティング**営業と随一の**コンプライアンス**体制
 コンプライアンス意識の高い大手企業から**選ばれる**存在

顧客別売上高構成比 (%)

ビルメンテ、ビルオーナー、店舗、メーカー、
 一般企業、など**3,727社**が顧客 (単体)



流通、小売、鉄道、商社、運輸、飲料、不動産、通信、銀行、
 証券、マスコミ、電機メーカー、自動車メーカー、病院、大学など
 あらゆる業種、事業者

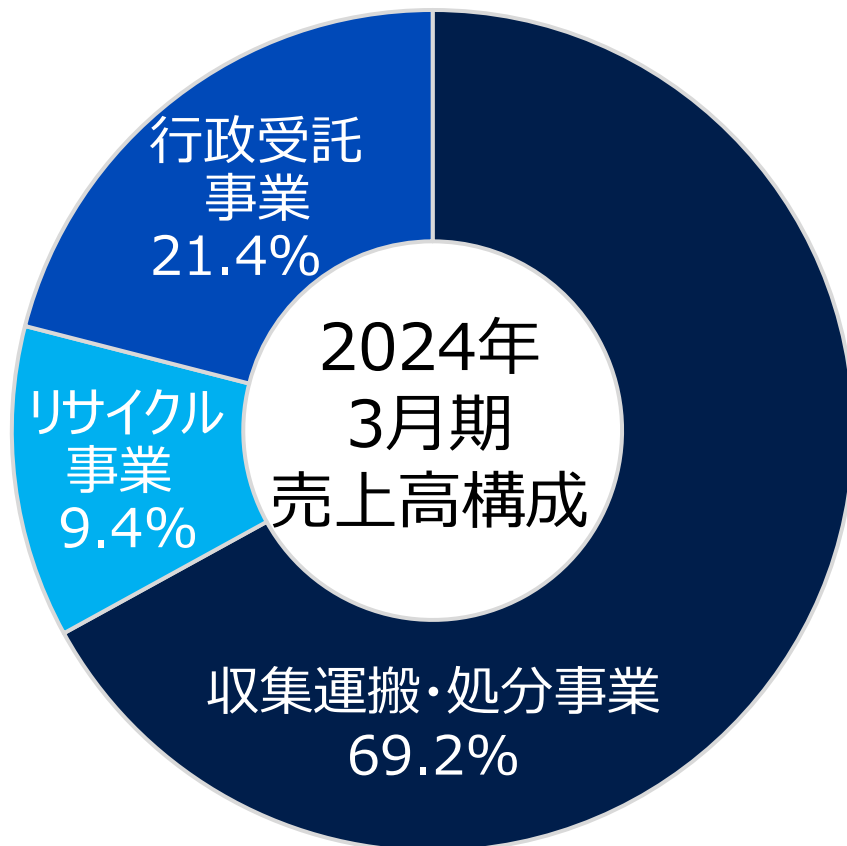
業界随一のコンプライアンス体制

- ◆ 自社開発ソフトによる電子マニフェスト管理
- ◆ 廃棄物処理法に関する勉強会
- ◆ 安全運転に関する指導
- ◆ 労務管理に関する勉強会

継続的な施策の実施
 社会的信頼を得る努力

業界唯一のコンサルティング営業

- ◆ 効率的な運用体制の指南
- ◆ 計量フローの確立
- ◆ 啓蒙活動(セミナーの開催、小冊子発行など)
- ◆ 臭気、衛生対策 など



収集運搬・処分事業

69.2%

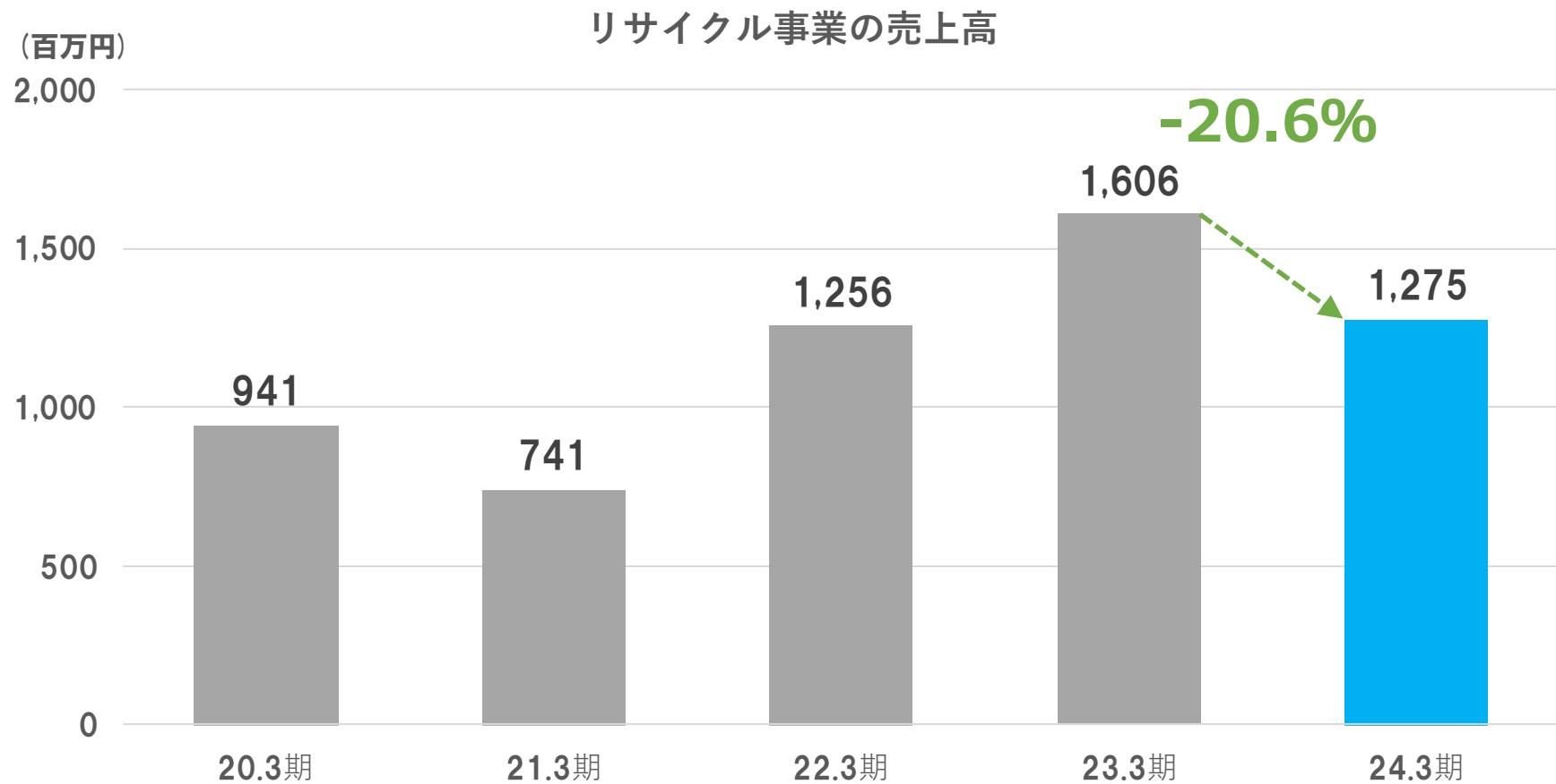
リサイクル事業

9.4%

行政受託事業

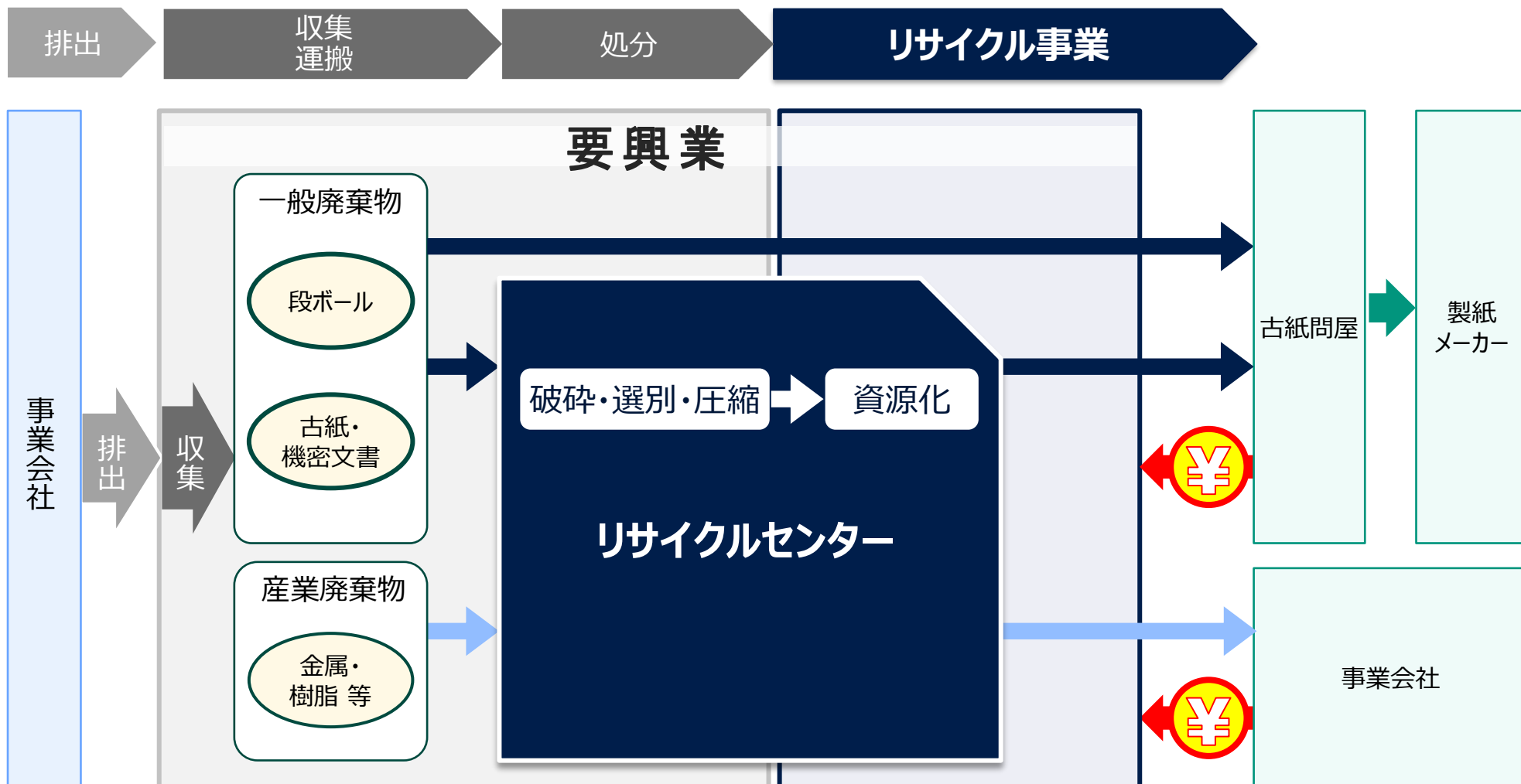
21.4%

- 資源相場が下落したこと等により、リサイクル事業の売上は12億7500万円と前期対比20.6%の減収となりました。



リサイクル事業の概況

収集運搬した廃棄物を加工し、リサイクル（再資源化）して**販売**する事業



23区内の自社リサイクルセンター・アライアンス先で再資源化



古紙ベール



発泡スチロールインゴット



段ボールベール



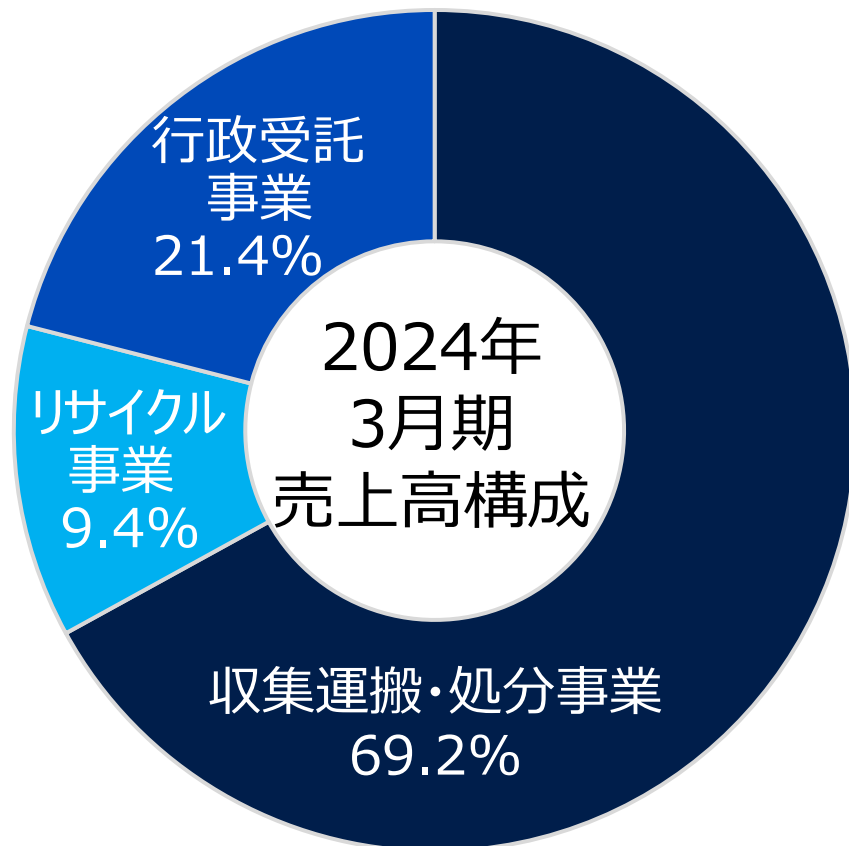
アルミ缶プレス



PETベール



スチール缶プレス



収集運搬・処分事業

69.2%

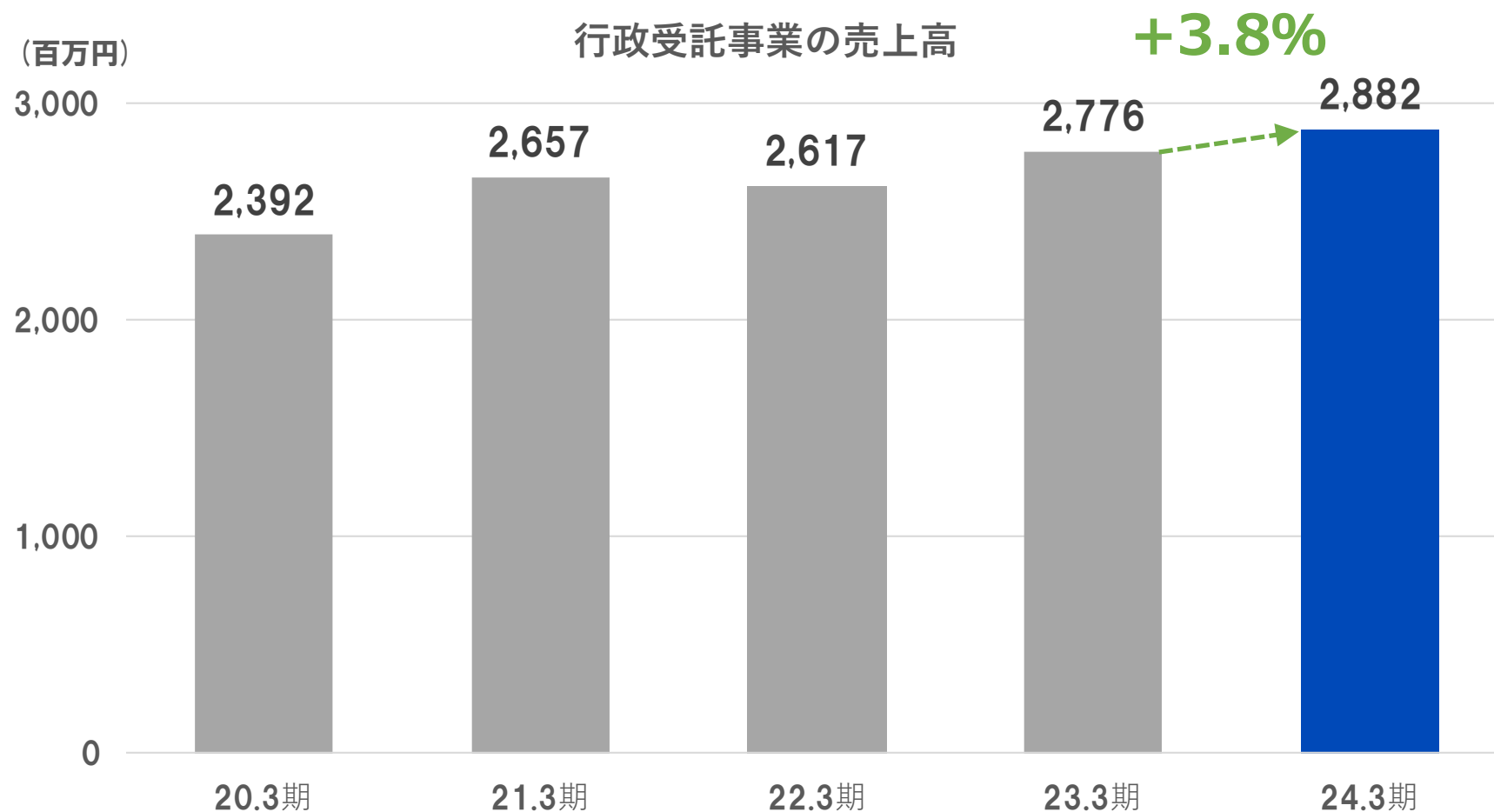
リサイクル事業

9.4%

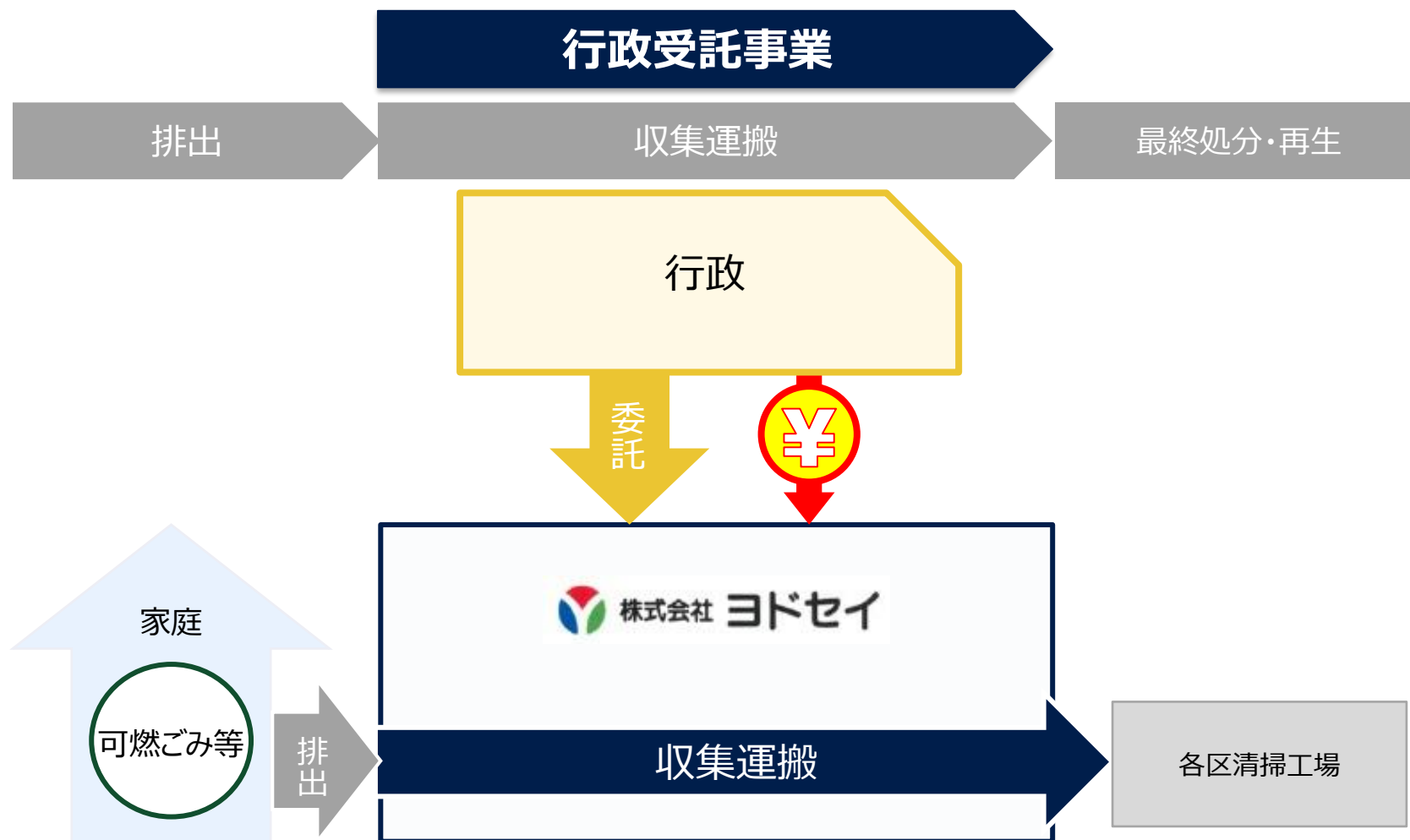
行政受託事業

21.4%

- 行政受託事業の売上は28億8200万円と前期比3.8%の増収となりました。



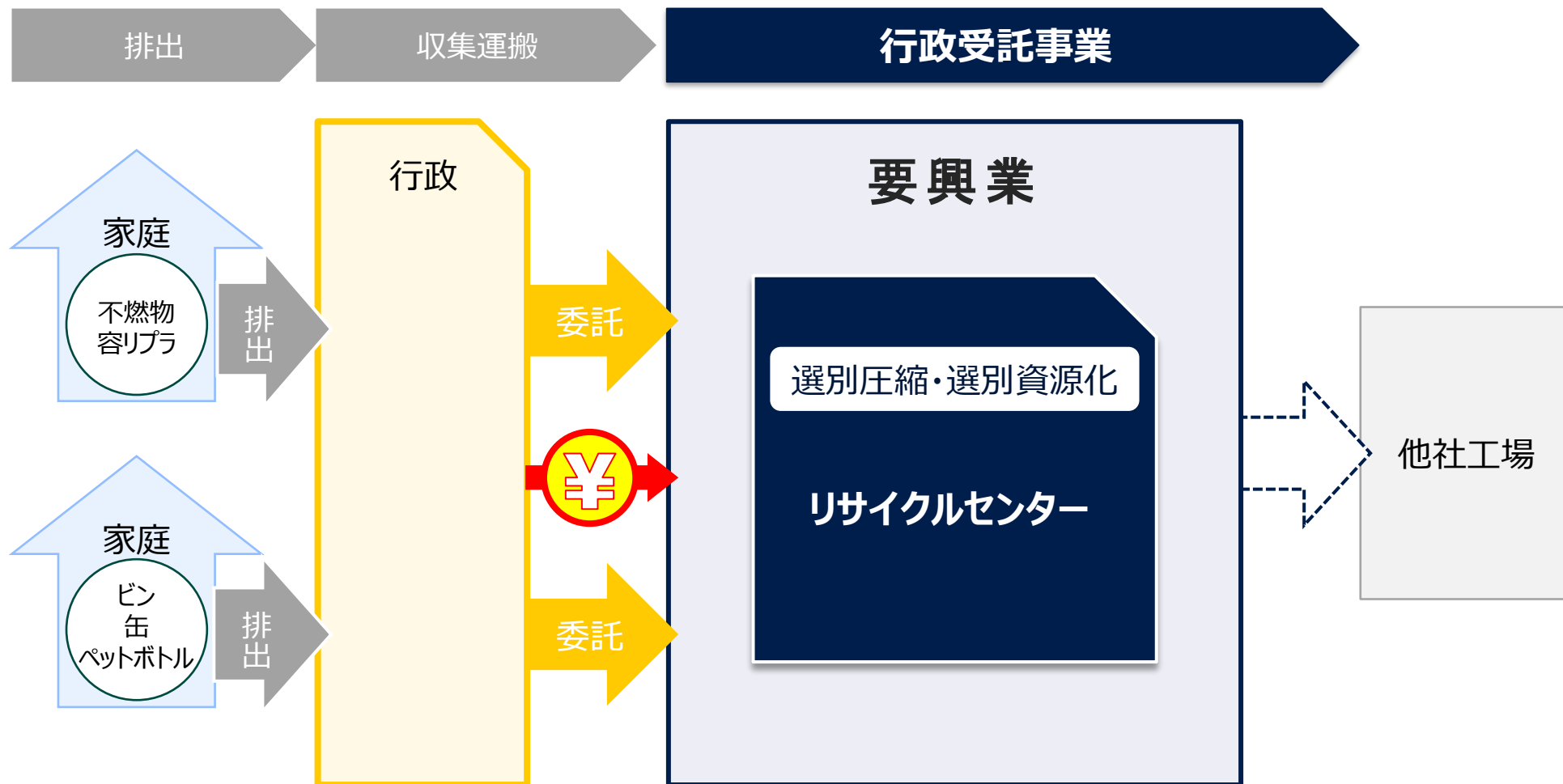
家庭ごみを収集し、行政区の清掃工場へ**運搬**



23区内の家庭ごみを収集する車両



リサイクルセンターに**家庭ごみ**を受け入れて、**リサイクル（再資源化）**を行う

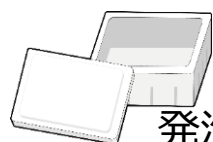


要興業のリサイクルセンターで扱う資源物は、このようなものとなります。

燃やさないモノ

資源

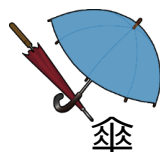
容器包装プラスチック(プラマーク)



発泡スチロール



廃プラスチック類



傘



ガラス・陶磁器



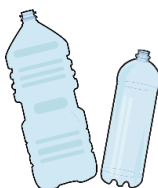
鉄製調理器具



丸電球



スプレー缶



PET



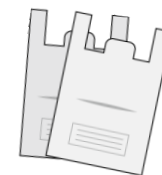
缶類



びん



綺麗なプラスチック



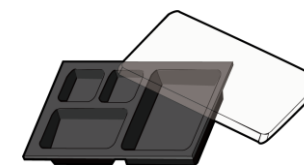
レジ袋



卵パック



お菓子の袋



お弁当・お惣菜の容器

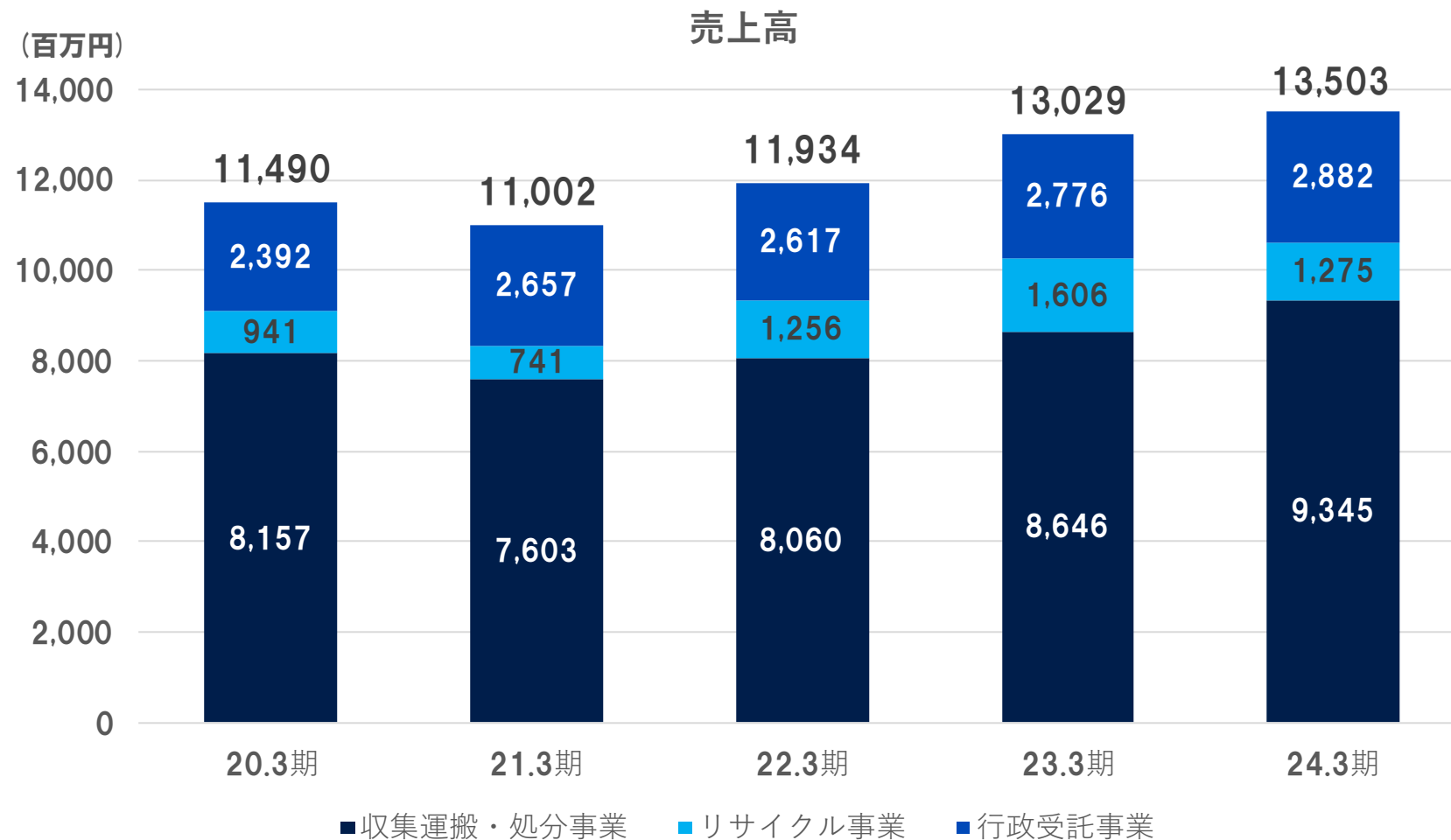


容器類

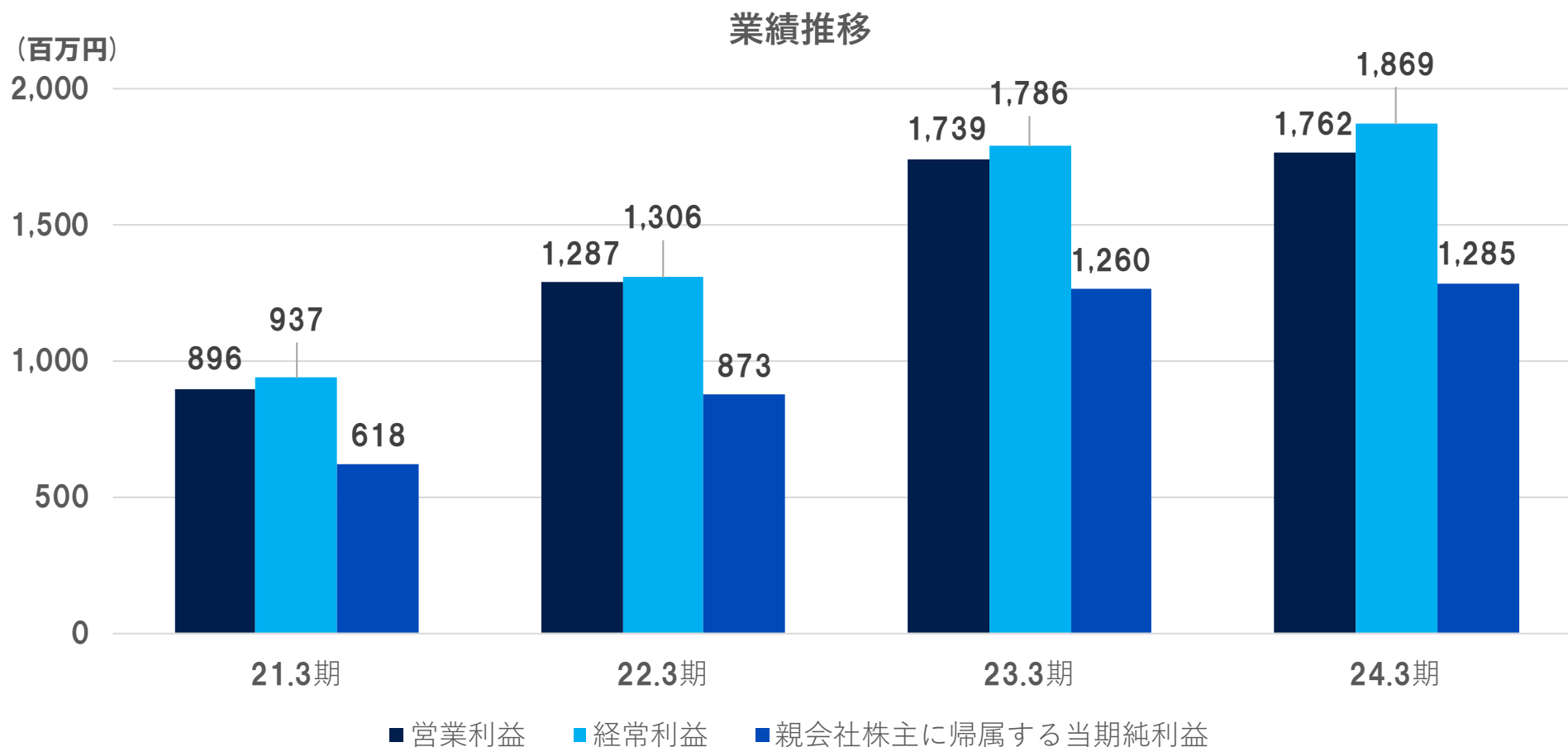
リサイクルセンターでカテゴリー毎に選別し、アライアンス先へ搬出する不燃物資源化事業



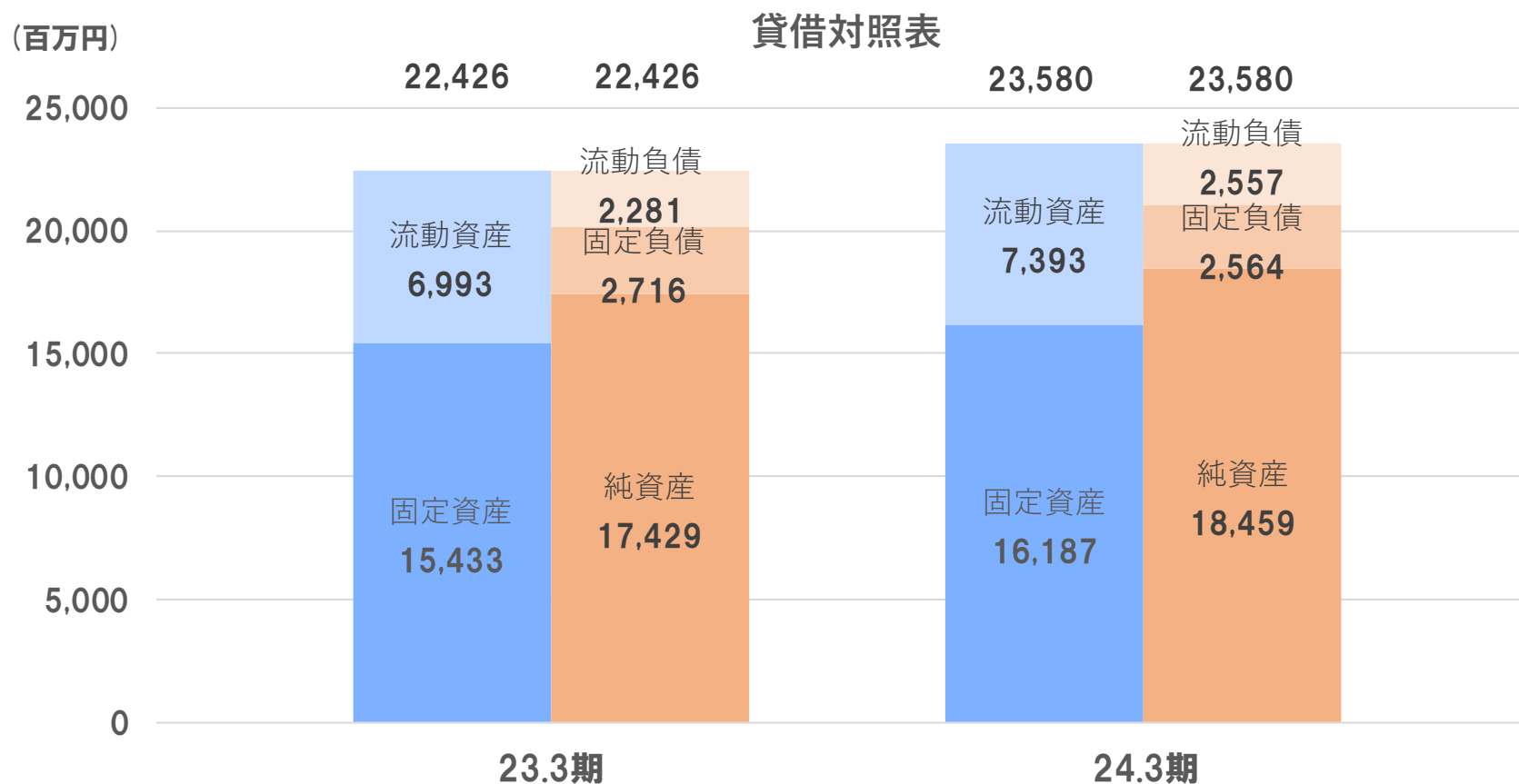
- 売上高は順調に拡大しております。
- 2023年3月期と比べると3.6%、2022年3月期と比べると13.1%の増収となりました。



- 前期と比べ、増益となりました。
- 営業利益は前期比1.3%の増益、経常利益は4.6%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は2.0%の増益となりました。

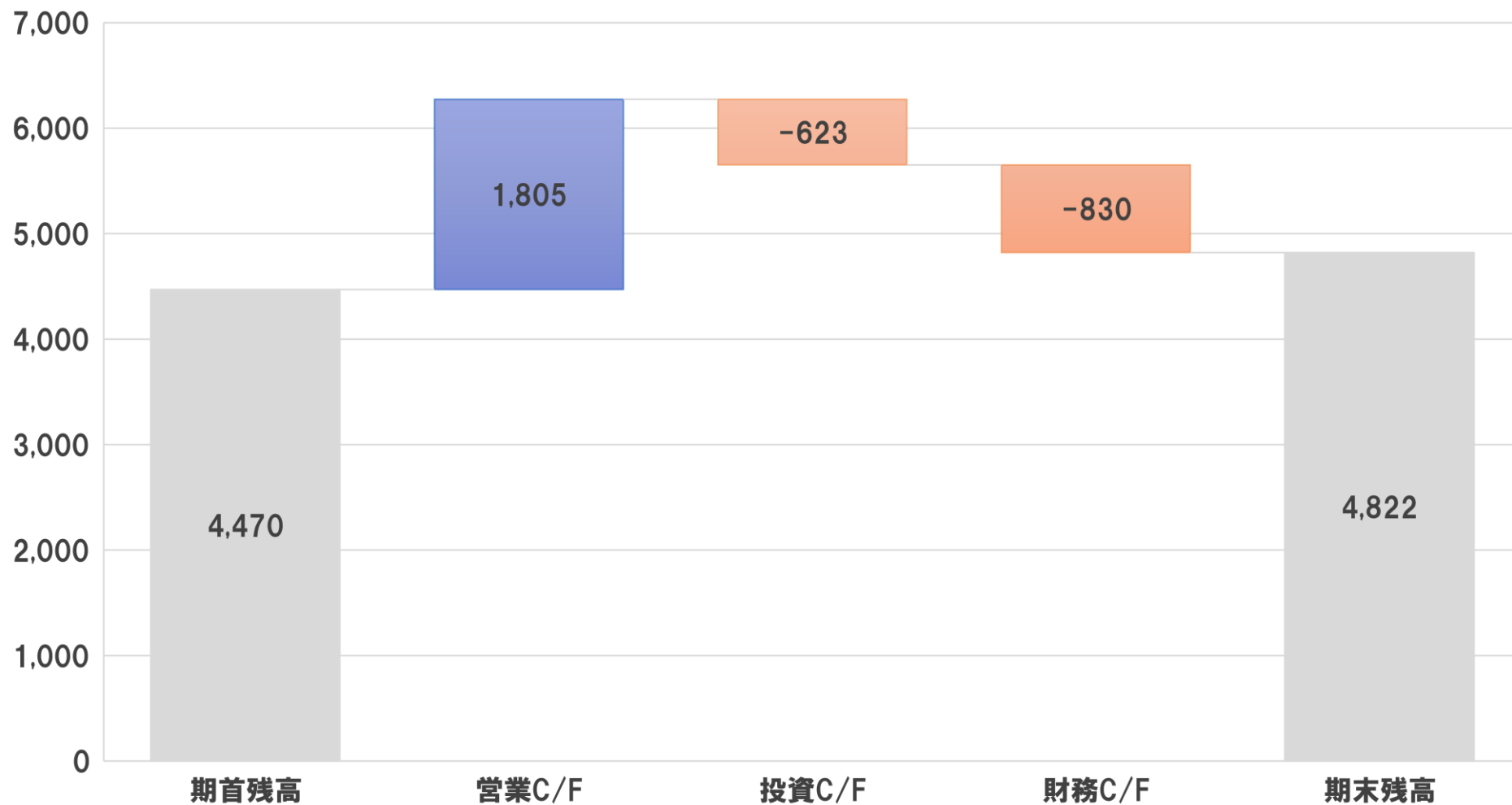


- 流動資産、固定資産は増加しました。
- 流動負債は増加し、固定負債は減少し、純資産は増加しました。
- 自己資本比率は78.3%となりました。



- 現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度の期末残高に比べ、3億5200万円増加し、48億2200万円となりました。

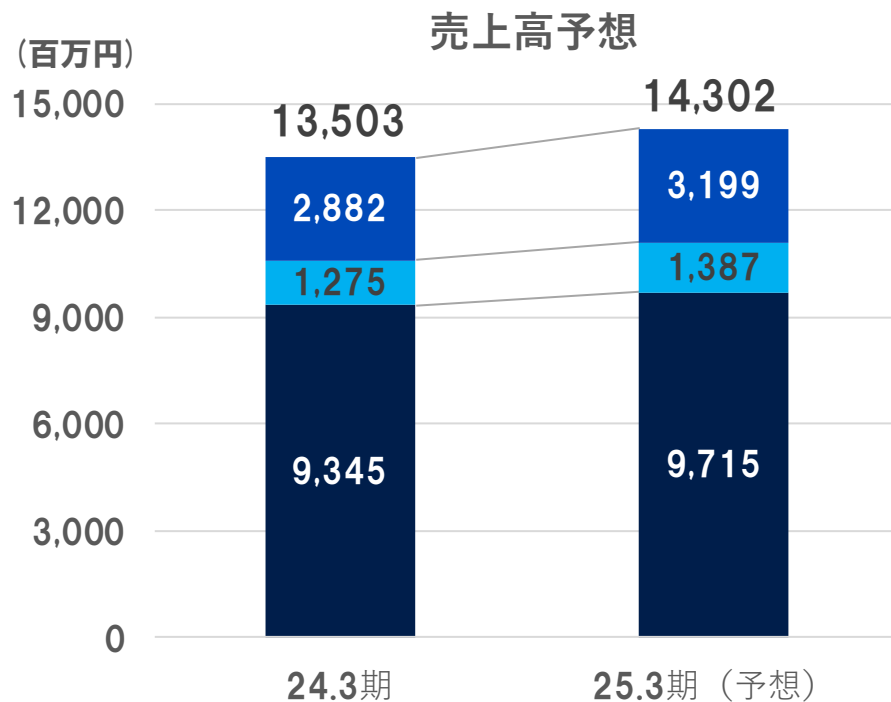
キャッシュフロー



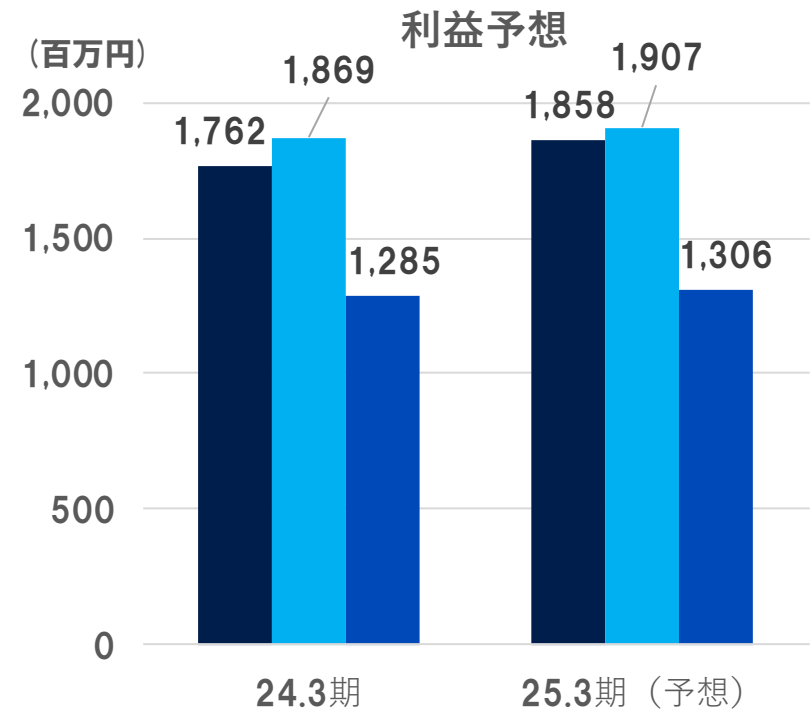
2025年3月期 連結業績予想



- 売上高は143億0200万円と、前期比5.9%の増加を予想しております。
- 営業利益は前期比5.4%増の18億5800万円、経常利益は同2.1%増の19億0700万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1.6%増の13億0600万円を予想しております。

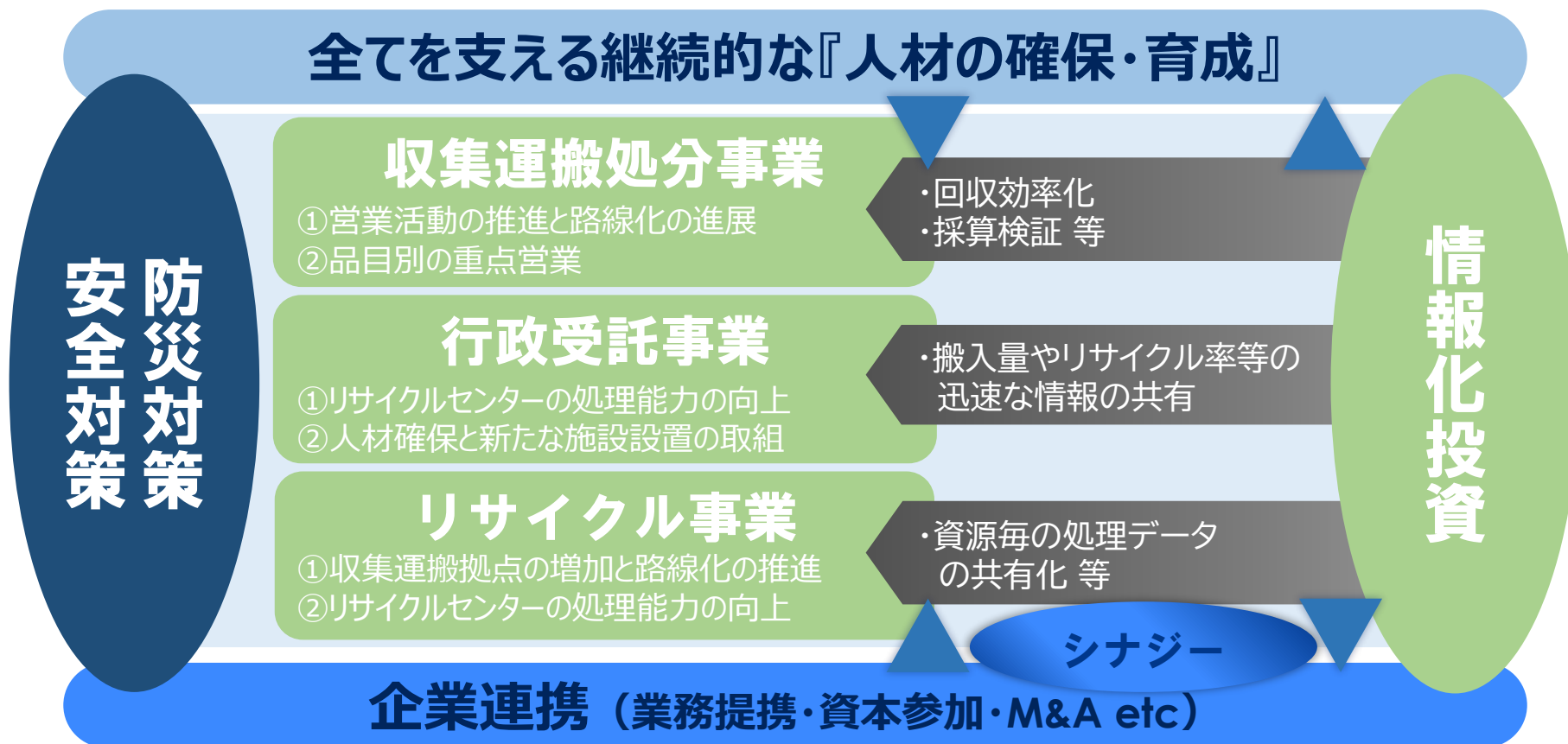


- 収集運搬・処分事業
- リサイクル事業
- 行政受託事業

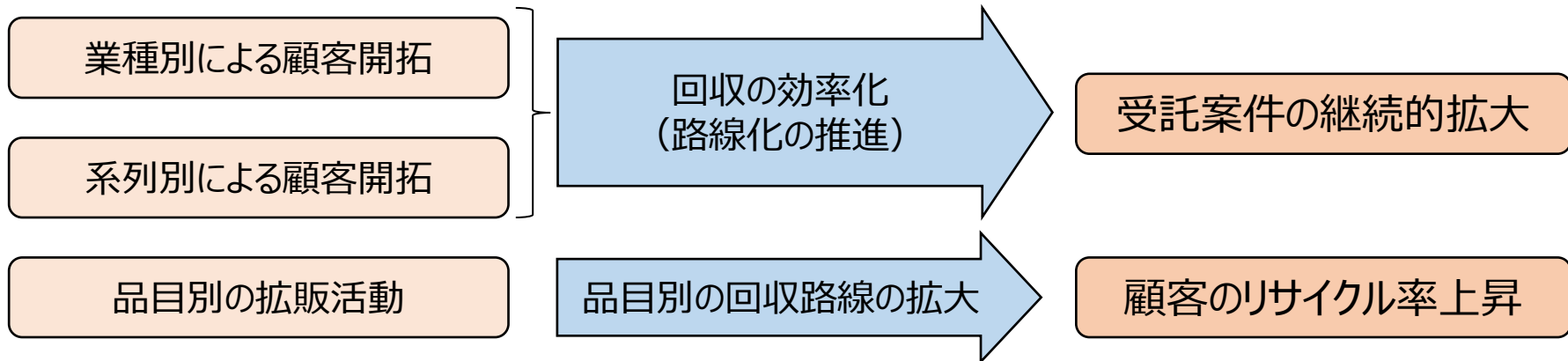


- 営業利益
- 経常利益
- 親会社株主に帰属する当期純利益

2026年3月期までの期間につきましては、更なる成長へのステップとして、当社主力の3事業に加え、積極的な情報化投資と企業連携を通じ、**年商150億円 ROE 8.0%**に挑戦いたします。



提案型営業の推進により、収集現場数の拡大に努め、売り上げ規模の拡大と路線化の進展を図ります。特に業種別、系列別、品目別のプロジェクトを推進し、収集運搬事業のみならず、リサイクル事業も含めた事業の拡大を目指します。



①粗大ごみ

- ・大量排出元へのアプローチ
- ・他社持込需要の開拓

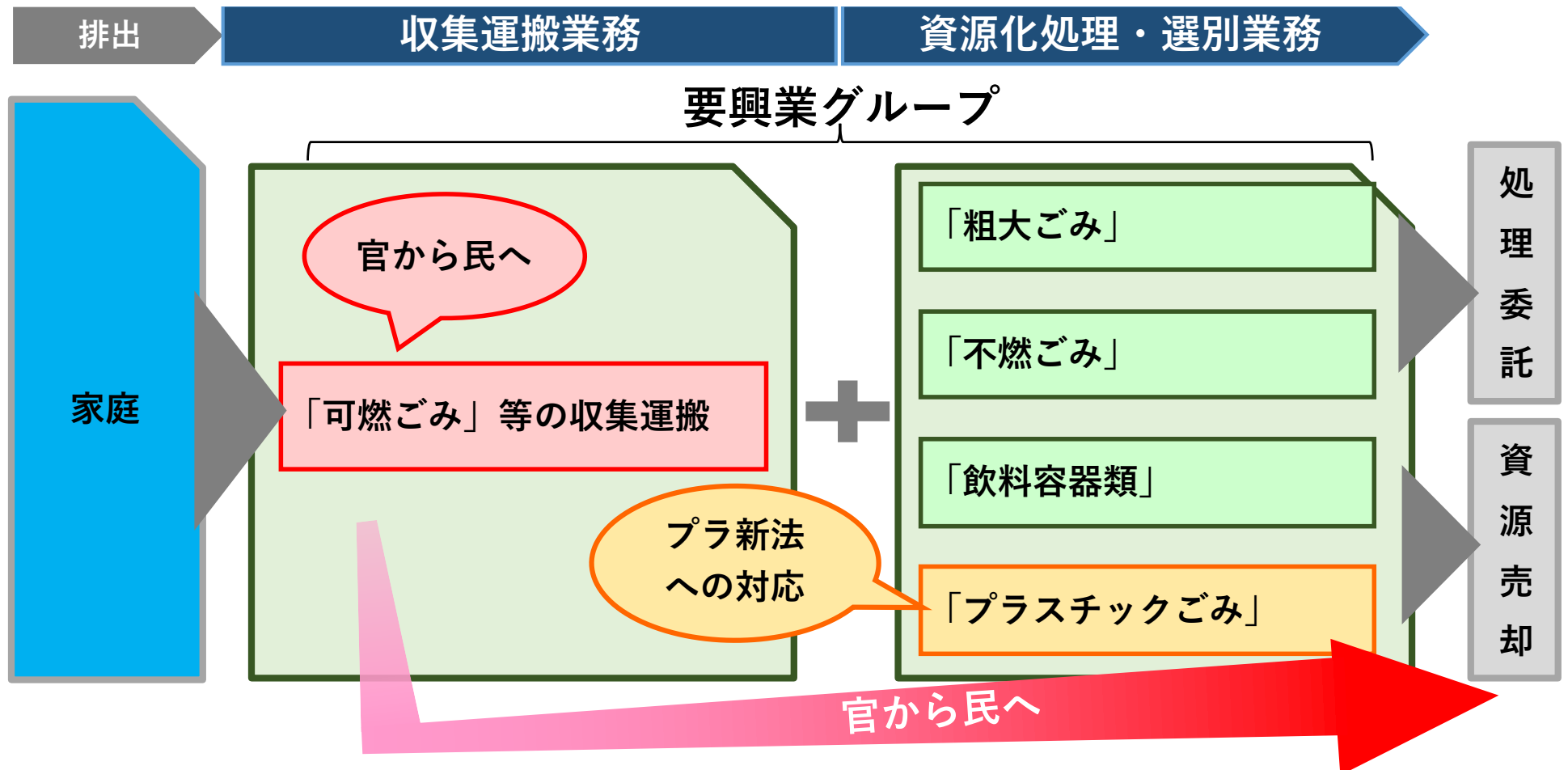
②感染性廃棄物

- ・大型総合病院の開拓
- ・診療所の開拓

③生ごみ

- ・食品リサイクルの導入提案
- ・処分先との連携強化

- マクロトレンドは官から民へ
- 2022年4月よりプラスチック資源循環促進法の施行
- 旺盛な需要に対して対応力の強化



2023年6月に発表した中期経営計画の進捗状況

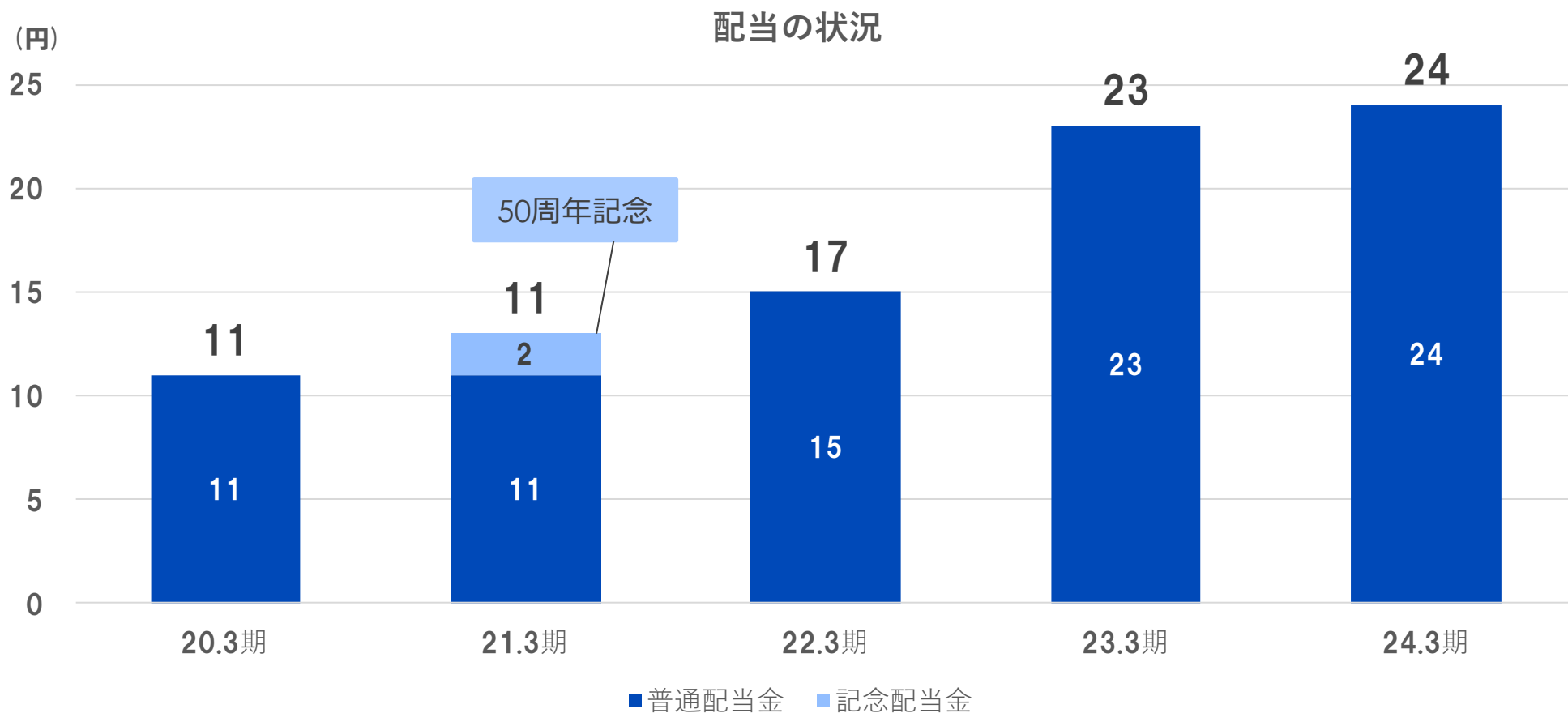


| (百万円) | 中期3か年計画 | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------------------|--------|--------|--------|-------------------------------|---------------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
| | 23.3期 | 24.3期 | | | 25.3期 | | | 26.3期 | | 3か年増減 | | |
| | 実績 | 計画値 | 実績 | 計画比 | 計画値 (2023年 6月15日 開示) | 最新計画値 (2024年 5月15日 開示) | 前期比 | 計画値 | 前期比 | | | |
| 主力事業の強化 | 売上 | 13,029 | 13,435 | 13,503 | +68 | 14,031 | 14,302 | +271 | 15,552 | +1250 | +2,523 | +19.4% |
| | 営業利益 | 1,739 | 1,743 | 1,762 | +19 | 1,780 | 1,858 | +78 | 2,054 | +196 | +315 | +18.1% |
| | 営業利益率 | 13.3% | 13.0% | 13.0% | - | 12.7% | 13.0% | - | 13.2% | - | | |
| | 経常利益 | 1,786 | 1,790 | 1,869 | +79 | 1,817 | 1,907 | +90 | 2,086 | +179 | +300 | +16.8% |
| | 経常利益率 | 13.7% | 13.3% | 13.8% | - | 12.9% | 13.3% | - | 13.4% | - | | |
| | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1,260 | 1,213 | 1,285 | +72 | 1,226 | 1,306 | +80 | 1,408 | +72 | +148 | +11.7% |
| | 当期純利益率 | 9.7% | 9.0% | 9.5% | - | 8.7% | 9.1% | - | 9.1% | - | | |
| | 自己資本 | 17,429 | 18,265 | 18,458 | +193 | 19,127 | 19,379 | +252 | 20,168 | +193 | +2,739 | +15.7% |
| | ROE | 7.4% | 6.7% | 7.2% | - | 6.5% | 6.7% | - | 7.1% | - | | |

株主様への利益還元



- 株主様への利益還元の一つの施策である配当に関しては、上場当初より配当性向30%水準を目安としております。2024年3月期につきましては、前期より1円増加の24円とさせていただきます。



2024年3月期 トピックス



【千住RC 容器包装プラスチック/製品プラスチックの選別・圧縮・梱包事業(行政委託)】



【鹿浜RC 容器包装プラスチック/製品プラスチックの選別・圧縮・梱包事業(行政委託)】



【安全運転への取り組み】



【BCP 水害や地震を想定した避難訓練を実施】



【東京都産業廃棄物処分業許可・優良産廃処理業者認定を更新】

様式第九号の二（第十條の六関係） 令和 5年 3月 6日 5環資源第2410号
許可番号 第13-20-002721号

産業廃棄物処分業許可証

(写) 優良

住所 東京都豊島区池袋二丁目14番8号池袋エクスビル

氏名 株式会社要興業
代表取締役 木納 孝

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第14条第6項 の許可を受けた者であることを証する。

東京都知事 小池百合子

許可の年月日 令和 4年12月24日

許可の有効年月日 令和11年12月23日

1 事業の範囲

(1) 業の区分：処分（中間処理）

(2) 処分の方法及び取扱う産業廃棄物の種類（処分に係る限定は2ページ目以降）

ア 破砕： 廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び珪藻土くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）（以上4種類）

イ 選別圧縮： 金属くず（空缶に限る。）（以上1種類）

ウ 圧縮梱包： 廃プラスチック類（以上1種類）

エ 破砕・溶融： 廃プラスチック類（発泡スチロールに限る。）（以上1種類）

2 事業の用に供する施設（施設詳細は2ページ目以降）

(1) 東京都足立区千住桜木二丁目18番11号

(2) 東京都足立区入谷九丁目16番1-9号

(3) 東京都大田区大森南四丁目10番6号

(4) 東京都足立区堀之内一丁目1-4番1-5号

(5) 東京都足立区入谷九丁目28番20号

(6) 東京都足立区鹿浜一丁目4番8号

(7) 東京都大田区城南島二丁目8番1号

(8) 東京都板橋区新河岸二丁目20番18号

3 許可の条件

(1) 作業時間は、原則として6時から17時までとし、機器の稼働時間は8時間以内とすること。

(2) 「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。

(3) 中間処理は別の承認を得た方法により行うこと。

4 許可の更新・変更の状況

平成 5年 12月 24日 新規許可

令和 4年 12月 24日 更新許可 第5回

令和 5年 7月 20日 変更届 2（1）施設の圧縮・梱包機を入替え、2（4）施設の蛍光ランプ破砕機を入替え

5 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無 無

(1/3)

都認定番号: 5-20-C0043

産業エキスパート

東京都

このマークは東京都の優良認定事業者のマークです。

本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。